

8月の新着本

2022年

8月13日(土) 貸し出し開始

【一般図書】

ひとり旅日和 運開き！ 【読者希望】	秋川滝美	グルメ×旅×絶景！人見知りのOL・日和による、ひとり旅大満喫小説！おひとりさま女子に贈る、人生満喫本！
ボタニカ 【今月のスタッフおすすめ本】	朝井まかて	ただひたすら植物を愛し、その採集と研究、分類に無我夢中。莫大な借金、学界との軋轢も、なんのその。すべては「なんとかなるろう！」。日本植物学の父、牧野富太郎。愛すべき天才の情熱と波乱の生涯！
ミチクサ先生(上)(下)	伊集院静	夏目家の「恥かきっ子」金之助は生まれてすぐに里子に出されたり、子供ながらに寄席や芝居小屋に入り浸る。学校では異例の飛び級で頭角をあらわし、心のおもむくままにミチクサをして学校を転々とするように。伊集院静がいつか書きたかった夏目“漱石”金之助の青春
眠れないほどおもしろい吾妻鏡	板野博行	「鎌倉殿」と呼ばれ、武士の世をつくりあげた源頼朝、その鎌倉幕府の「公式レポート」。なぜ、源氏将軍はたった三代で断絶したのか？政治の実権を握った北条氏とは何者なのか？鎌倉幕府の歴史を記録した『吾妻鏡』をひもといていきましょう。
奏鳴曲 北里と鷗外	海堂尊	明治時代のニッポンにも、感染症との終わりなき闘いに挑んだ二人の男がいた。コロナ禍で、「感染症学」に注目が集まるなかで、医師である著者が、北里柴三郎と、軍医・森鷗外のライバル物語を描く。
タラント	角田光代	こんな人生に、使命は宿るのか。片足の祖父、不登校の甥、大切な人を失ったみのり。絶望に慣れた毎日が、一通の手紙から動き出す。慟哭と感動の傑作長篇
テレフォン人生相談 【読者希望】	加藤諦三	57年前にスタートし、「時代を映す鏡」として相談者の悩みに寄り添ってきた長寿番組『テレフォン人生相談』。昭和・平成・令和と3世代にわたりパーソナリティをつとめている加藤諦三が「なぜ、あなたは悩んでいるのか」について解説をしながら、幸せへの目覚めかたを伝えていきます。
月夜の森の梟	小池真理子	作家夫婦は病と死に向きあい、どのように過ごしたのか。残された著者は過去の記憶の不意うちに苦しみ、その後を生き抜く。心の底から生きることを励ます喪失エッセイの傑作、52編。
倒産続きの彼女	新川帆立	彼女が転職するたび、その企業は必ず倒産する…婚活に励むぶりっ子弁護士・美馬玉子と、高飛車な弁護士・剣持麗子がタッグを組み、謎の連続殺「法人」事件に挑む！
黛家の兄弟	砂原浩太郎	神山藩で代々筆頭家老の黛家。三男の新三郎は大目付を務める黒沢家に婿入りし、政務を学び始める。そんな中、黛家の未来を揺るがす大事件が起き…。神山藩シリーズ第2弾。陥穽あり、乱刃あり、青春ありの躍動感溢れる時代小説。
現代生活独習ノート 【読者希望】	津村記久子	偶然録画していた興味のない番組、冷蔵庫内の陣地争い 貧弱な食事ばかりのSNS画面 資料室の籠城騒動。キラキラはしてなくても、冴えない日常は、案外愛しく、悪くない。短編の名手がおくる 私たちの‘今’が詰まった8つの物語
相模のものふたち	永井路子	源頼朝の旗揚げ、中世に夜明け。だがその主役となったのは東国、とりわけ三浦、大庭、波多野といった相模の武士団であった。かつて相模の田野を開発し戦乱に巻き込まれていったものふたちの面影を求めて、埋もれた館址や緑蔭の古社寺をたずね、激動の中世を生きた彼らの人間像を浮き彫りにする。
皆のあらばしり	乗代雄介	幻の書の新発見か、それとも偽書か…高校の歴史研究部活動で城址を訪れたぼくは中年男に会う。人を喰った大阪弁とは裏腹な深い学識で、男は旧家の好事家が蔵書目録に残した「謎の本」の存在を追い始めた。うさん臭さに警戒しつつも、ぼくは男の博識に惹かれていく

新 地政学	長谷川敦	大航海時代から冷戦終結までの近現代史や、米中関係やEU内格差などの時事ニュースを解説した、最新地政学の決定版。既刊シリーズ同様、オールカラーで地図や相関図、写真などを贅沢に使用。今さら聞けない地政学の基礎知識もきちんと網羅。
マスカレード・ゲーム	東野圭吾	解決の糸口すらつかめない3つの殺人事件。共通点はその殺害方法と、被害者はみな過去に人を死なせた者であることだった。捜査を進めると、その被害者たちを憎む過去の事件における遺族らが、ホテル・コルテシア東京に宿泊することが判明。警部となった新田浩介は、複雑な思いを抱えながら再び潜入捜査を開始する。
暁の宇品 陸軍司令官たちのヒロシマ	堀川恵子	人類初の原子爆弾は、なぜ“ヒロシマ”に投下されなくてはならなかったか。日本の「海の戦争」を支えた輸送基地＝宇品港の3人の司令官と、軍都・広島が背負った「宿命」に迫り、日本軍事史上の最重要問題に光を当てる
ハッピーリフォーム 【読者希望】	未上タニ	建築士だった父の背中を追い、木之本工務店に勤める二級建築士のさくら。彼女がクライアントに寄り添い提案する改築案は、彼らの生き方まで変えていく……。リフォームが幸せを呼ぶ、暖かくて感動的なお仕事小説!
残照の頂 続 山女日記	湊かなえ	コロナ禍、三〇年ぶりの登山をかつての山仲間と報告し合う女性たち。……日々の思いを噛み締めながら、一步一步、山を登る。頂から見える景色は、過去の自分を肯定し、未来へ導いてくれる。
鎌倉武士と横浜	盛本昌広	現在の横浜市域はかつて武蔵国都筑郡・久良岐郡と武蔵国橋樹郡・相模国鎌倉郡の一部から成っていた。鎌倉幕府との関連を踏まえながら、歴史資料をもとに鎌倉時代の横浜市域とその周辺の全貌を描き出す。2022年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の背景を知る本。
ブルーピリオド(11) 【読者希望】	山口つばさ	高2で絵を描くことの楽しさに目覚めた矢口八虎の新しい生活が始まった。金欠に悩む八虎がたまたま応募したバイト先は高校の恩師・佐伯先生が開く絵画教室、そこで働くことになった八虎は小さな子供たち相手に四苦八苦。中でも問題児の翔也くん「ピカソはなぜすごいのか？」と問われるも答えられず…。
わたぶんぶん わたしの「料理沖縄物語」	与那原恵	わたぶんぶん。沖縄の言葉で「おなかいっぱい」。沖縄生まれの両親の手料理。日本統治下の台湾の思い出が残る母のビーフン。沖縄本島、八重山、奄美、南米ボリビアの移民村コロニア・オキナワの味。そして東京で食べる沖縄料理。たべものが連れてくる懐かしい思い出に、おなかも心も満たされる名エッセイ集。
鎌倉幕府の「謎」を歩く	T.J MOOK	日本で初めて「武士の、武士による、武士のための政権」が生まれた地「鎌倉」。なぜ伊豆の弱小勢力だった北条氏が執権になれたのか。承久の乱が勃発した際、なぜ後鳥羽上皇に味方する御家人が少なかったのか……。鎌倉幕府にまつわるさまざまな謎を追うとともに、往時をしのぶ史跡や寺社など、ゆかりの地を巡る。

☆ 児童図書・絵本は、別途掲示しています。

なお、10月新着本は、10月8日から貸出いたします。